

大阪府枚方市
ながた歯科医院
院長 長田 聡

昨年、新卒の歯科衛生士がスタッフとして新たに加わりました。その際、課題となったのは教育の問題でした。もちろん先輩スタッフが折にふれ指導してくれていますが、それぞれに持ち場があり多忙ですから、細かい部分まで見るのは難しいと感じていました。さらに、最近の若い人は昔ほど本を読む習慣がありませんから、本や雑誌だけに頼ることもできません。そこで、YouTubeなどの動画配信サービスの活用を思いつき、さっそく検索してみたところ、『Dental Life Designチャンネル』がヒットしました。試しに何本か見てみると、1本1本が約4、5分とコンパクト、テーマ別に分類されていてとにかく見やすく分かりやすい、「これは使える！」とピンと来ました。なかでも「新人歯科衛生士さんのための悩み相談室」は、SRPやTBI、口腔内写真撮影のポイントなど、学校で知識としては学んでも、いざ実践となると自信が持てない勤務1年目、2年目の新人スタッフにまさにピッタリ。さっそく動画リストの中から見て欲しい動



長田院長がスタッフさん向けに作成したプレイリストはPart4まで、約100動画にも及び。

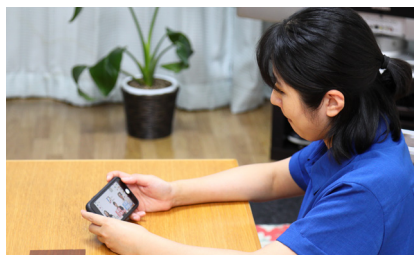
若手歯科衛生士の教育や、スタッフとの意識共有に役立つ『YouTube動画コンテンツ』

画をピックアップして「歯科衛生士必須知識」というプレイリストを作りました。そして、私と歯科衛生士スタッフの連絡用として作ったLINEグループを介して「動画を見て、その感想を書くように」と指示を出す方法でスタートしました。開始直後は視聴後の感想を書くのが大変だったようですが、日を追うごとに学びを深めている様子を感じ取れるようになりました。

また先日、動画のコメント欄に「付着歯肉についてスタッフに説明するのが難しいので動画を作って欲しい」とお願いしてみたところ、さっそくそのリクエストに応じて動画をアップしてくださいました。「本当に取り上げてくださったんだ」という驚きとともに、スタッフ一同とても感謝しています。

今後もこうした動画コンテンツの力を借りながら医院としてのレベルアップを図り、来院する患者さんの“健口づくり”に貢献していきたいと思っています。

長田先生からリクエストいただき制作した付着歯肉のYouTube動画はこちらから。



「これまで“知っているつもり”になっていたことがより深く学ぶきっかけになった」と先輩歯科衛生士さんにも高評価。

スタッフA

- ・リセッションは歯肉退縮という意味！
- ・小帯が原因で歯肉退縮が起こりやすくなるのは初めて知りました。なぜ口腔前庭が狭いと歯肉退縮が起こりやすくなるのですか？
- ・Tooth Wearは齶蝕症や磨耗。
- ・咬耗性歯槽炎のものを摂取した後にアルカリ性の物（チーズ・牛乳）を摂取するといいのは初耳でした。
- ・全身状態は人それぞれなのでその人をよく観察しその人にあった質問を行い患者さんの職業もできたら把握しておくのがいいと思いました。
- ・大臼歯頰側面・上前歯歯槽歯肉にカリエスが多い方はアメアージュスなどを好む人が多い方だと知りました。

スタッフB

- ・メイナードの分類、Cairoの分類、ハイオタイプについて初めて知りました。また、Tooth Wearの言葉も意味も齶蝕症や磨耗。咬耗の総称であると今知りました。
- ・齶蝕症に関して、ワインをよく飲む方、以前の動画でもあったようにチビチビ飲む方は要注意。これから夏に向けてスポーツ飲料をよく飲む事が多くなるので口腔内を注意深く観察しようと思いました。
- ・歯肉退縮も同じ全身状態や生活背景をしっかりと観察。ピンポイントでのヒアリングが重要。動画でおっしゃったように習慣を「やめて下さい」と言うのは簡単だが、誰でも歯に習慣を変えるのは難しいのでどのようにしたら改善出来るかを一層考えていく。その為には全てに当てはまる事だが、色々お話しして下さる様に患者さんとのコミュニケーションや齶蝕症予防、ヒアリング方法が大切だと改めて思いました。

スタッフC

- ・小帯の影響で歯肉退縮になり4.56番あたりのHysが起こりやすくなることがある。メイナードの分類とCairoの分類、ハイオタイプという言葉は知らなかったです。齶蝕でも歯肉退縮が起こることがあるというのが分からなかったです。歯肉退縮は口腔内だけで判断するのではなく全身状態をみてヒアリングできることがあればそこから聞き出す。
- ・歯肉の腫血があると拒食症の可能性があるというのには気がしたことがなかったのでこれから確認していきます。
- ・歯肉を腫血する原因となる習慣まで聞き出し、ストレス解消をする方法と一緒に考えていく。カフェインを多く摂取することで利尿作用によりドライマウスを引き起こしやすくなる。
- ・シェーゲレン症候群の方には唾液マッサージは効果がない。

院長

今回の動画はボクもかなり勉強になりました。特にドライマウスの方への注意の仕方、水分摂取量やカフェイン摂取にも気を付ける事などは全く知識になかったです。あと歯肉の腫血が拒食症に関連する事があるのも初耳でした。ボクも患者さんの体型や身なり、職業なんかを見て色んな質問をする事がありますが、森田先生は本当に視野が広く知識も豊富で驚かされます。皆さんも「聞き上手」になってしっかりと患者さんのヒアリングをして下さいね。

Aさんの質問への回答ですが、口腔前庭が狭い＝不着歯肉が少ないことによって歯肉退縮が起こりやすくなります。この説明で分からないようなら、また医院で直接説明します。

LINEグループでのやり取りの一部。スタッフさんからの感想文に対して長田院長の考えを最後に伝えることで、全員の意識共有にも繋がっている。



「全員が同じ動画を視聴していることで、知識レベルも揃うようになり、その後お互いの連携が取りやすくなったと感じます」と長田院長。